

A. 現在、各地方自治体の事業別予算説明書などの資料を取り揃えており今後これらの資料を研究するとともに、手法を含めて検討していきたい。

Q. 一例として、長野県小布施町では一冊370円の経費をかけて町内全戸に無料配布を行っており、当町戸数で換算すると約300万円かかると思う。経費の関係もあるが、ぜひ採り入れていただきたいと考えるが、費用対効果などを含め、今後、色々な角度から検討していきたい。

〔町長〕

議席7番 田山 文雄 議員



○福祉タクシーやデマンド交通について

Q. 福祉タクシーをもっと使いやしい仕組みに改善が必要では。また、デマンド交通の導入については。

A. 福祉タクシーをもっと使いやすい内容に変える検討をしていきたい。

〔民生部長〕

A. デマンド交通は任期中に導入したいと考えている。

〔町長〕

○高齢者社会における対応について
Q. 行政として専門窓口を作る事も必要では。

A. 高齢者人口は急増することから更なる体制の充実を図るため有資格者の配置に努めつつ支援をしていきたい。

〔民生部長〕

○住宅用火災報知器の普及状況について

Q. 当町における現状と取り組みについて。

A. 設置普及状況は、広域管内7市町の平均では36・8%で、境町は45%の推計結果で、さらに、関係機関団体の協力を得ながら継続して啓発活動を展開していきたい。

〔副町長〕

○いじめや不登校の問題について
Q. 小学校から中学校へ進学した際の「中一ギャップ」が問題になっているが、当町の現状と取り組みについて。

A. いじめ発生の未然防止と早期発見に努めると共に、不登校が解消できるような事例研修、いじめ・不登校問題を抱える教員との面談などの教育相談を実施する事によるスキルアップや学校と適応指導教室と連携し、きめ細かな支援を引き続き実施していきたい。

〔教育長〕

議席6番 橋本 正裕 議員



○圏央道の建設状況と周辺開発について

○圏央道の(仮称)五霞ICにつくば中央IC間について、開通が平成26年度以降になる見通しと発表された。

○圏央道・五霞つくば区間については、本年度予算が前年度比約6割の約49億円にとどまり、今回増額された補正をあわせても、前年度予算より約24億円少ない。今後当町の計画にも直接影響がでるといふ観点から「圏央道の建設状況および周辺開発について」質問する。

Q. 圏央道IC付近における、まちづくり調査後の当町の今後の進め方について。

A. 詳細なアンケートを実施中であり集計ができ次第、後日結果を報告できる。また、A調査地(38・5ha)全部ではなく、6haぐらいでも出来る部分から開発計画として企業誘致を推進していく。

〔副町長〕

Q. 圏央道の今後の見込みについて及び国道354号バイパスなど周辺道路の整備の現状について。

A. 圏央道については、開通目標が平成26年度以降となる見通しであると発表されたが、古河市における日野自動車の関係もあることから、境IC(仮称)までは、なんとか平成24年度までに開通できるよう、県と町とで要望していく。354号については、平成24年度までの計画では、結城野田線から長田小学校の前の道路まで940mが最重要建設区間となっている。用地買収も93%が終わっている。

〔産業建設部長〕

このほか「防犯灯などの街路灯や公共施設のLED導入について」、「圏央道境IC(仮称)の開通にともない県外や他市町村から人が呼べるよ

うな観光施設の拡充および計画について」質問した。

議席13番 中村 治雄 議員



○下水道事業について

Q. 公共下水道事業・農業集落排水事業の現在までの実施状況は。

A. 公共下水道事業はH22年度から着手し、H21年度末現在で、事業費161億2千5百万円、全体計画940haの内404haが完了した。農業集落排水事業は、長田北部地区(下砂井・蛇池・栗山)が平成4年度から8年度まで、16億6千4百万円境第2地区(浦向・金岡・一ノ谷・下小橋・染谷の各一部)が平成7年度から12年度まで、18億8千万円、境第3地区(塚崎・横塚)が平成11年度から20年度まで、28億円、境第4地区(稲尾・志鳥)が平成13年度から20年度まで、11億2千万円の事業費で供用開始をしている。

〔産業建設部長〕

Q. 各地区の個別負担はいくらか。

A. 長田北部は60万円、境第2は56万4千円、境第3・第4は56万1千円。

〔産業建設部長〕

Q. 各地区の加入率は。

A. 公共下水道は73%、農業集落排水は長田北部94%、境第2が95%、境第3が88%、境第4地区77%である。

〔産業建設部長〕

Q. 次の下水道事業の計画予定地は何処なのか。

A. 公共下水道では大歩・中大歩・内門新田地区から整備するのが効率的と思われる。農業集落排水は、境第5地区(若林・百戸地区)を事業採択に向けて推進する予定。

〔産業建設部長〕

Q. 次の計画予定地区の実施時期は何時頃になるのか。

A. 公共下水道はH25年度以降に事業認可を取得する予定で、農業集落排水については現在のところ計画予定地の事業採択に向け進める予定。

〔産業建設部長〕

A. 事業の実施に当たっては、地元住民の理解と協力が重要なことは不可欠で、更に多額の費用がかかり、町の財政事情が大きく左右することになる。

〔町長〕

平成22年第4回臨時会

平成22年11月29日開会

○境町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案

〔即日原案可決〕

○境町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案

〔即日原案可決〕

○境町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例案

〔即日原案可決〕

以上、3件の条例案は、平成22年8月10日の人事院勧告に基づいて、条例の一部を改正するもの。